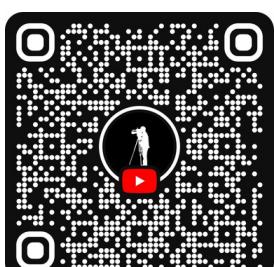


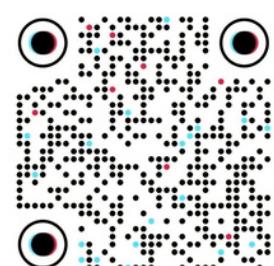
『Tryangle』 6月号 「東海大学馬術部」



Instagram
@tokaiunity



Youtube



Tiktok

東海大学内で多様な取り組みや研究に『挑戦 (トライ)』していする学生や先生、団体などを取材。番組制作陣・ゲスト・視聴者の3つの『アングル』から、その姿に迫つていく対談番組です。

今回は、全国大会へ向けて馬とともに駆ける「東海大学馬術部」のトライに迫ります。

テレビ班

番組Youtubeは
こちら

こうわプロジェクト スタジオ通信

No.229

発行日

7月15日

編集担当

安藤／春日／海和

一言

こちらラジオ

番組制作部

いよいよ本格的に夏に突入していきますが、水分補給をこまめにして、熱中症対策をしていきましょう！！

4週目(クリックして聴く)
登山後の下山メシはお腹も心も幸せで満たし、その地域の食文化に触れることができるため、新たな楽しみ方のひとつとして提案しました。



3週目(クリックして聴く)

2週目(クリックして聴く)
「方言」についてのイメージ、ルーツ、歴史的背景などを調べ、方言の魅力や大切さを伝えました。

1週目(クリックして聴く)
放送日が「世界自転車デー」ということで自転車について過去放送を振り返ると共にルールやマナーについて考えました。

学校生活で誰もが思い出深い給食には世代間の違いがある中で人との繋がりや大切な時間を築いていた事に気づきました。



放送情報

湘南平塚コミュニティ放送
(FM 湘南ナパサ 78.3Mhz)
毎週火曜
20:00~20:30 オンエア



Instagram
@kotirazi2025

学祭に向けて活動中！



メンバー全員の自己紹介が終わり、お互いのことを理解したところで、各学年建学際に向けて動き出しました。今年は、それぞれの学年で模擬店を出すので、楽しみにしていてください！！

ひらつかシングスYouTubeは、こちら

当プロジェクトのメンバーが企画会議に参加した平塚市の広報番組『ひらつかシングス』が、YouTubeの平塚市公式チャンネルで公開されています。今回参加させていただいた番組「Vol. 24 地産地消にこだわるパティシェ」が公開されました。ぜひご覧ください！

DOZINEでは、「ファッショング雑誌」第2号に向けて、メンバーが制作を進めています。どんな内容になるのか、メンバーも楽しみにしています。一人でも多くの心に響くようなワクワクするコンテンツを作つて参ります！

新しい仲間もたくさん増えました。数人で取り組んでいたプロジェクトですが、今年はたくさんの仲間と一緒に楽しい作品・企画づくりに励みます。

さつそくですが、新しい仲間と共に建学祭に向けて、準備をほんのすこーしずつですが、進めています。プロジェクトリーダーの私も、他のメディアプロジェクトの建学祭企画の情報にワクワクしております。DOZINEも他の団体に負けないくらい、最高の建学祭企画にしますので、どうぞお楽しみに！

※DOZINEとは、「同人」とミニコミ誌などをさす「ZINE」をかけあわせた名称で、学生の手だけで雑誌やZINEを作り、イベントに出演しています。

今月のコラム

6月に入り、だんだんと梅雨入りが発表されました。しかし最近は雨よりも暑さが続いています。雨が降ると外にでるのも億劫になってしまいますが、私はそれを逆手に取って夏が本格化する前に外に出るようにしています。

最近のブームは御朱印集めです。この時期はあじさいが見頃でもあるのであじさいが有名な神社に行けたらいいなと考えています。御朱印帳は最初のページの御朱印を伊勢神宮で頂くという考え方もあるため、1ページ目はまだ空白なのですが、近いうちに行けたらいいなと思っています。神社やお寺はパワースポットもあるので足を運んでみてはいかがでしょうか。

(安藤)

広報班 Spinach!!

建学際の準備を進めています！

DOZINE

DOZINEでは、「ファッショング雑誌」

第2号に向けて、メンバーが制作を進めています。どんな内容になるのか、メンバーも楽しみにしています。一人でも多くの心に響くようなワクワクするコンテンツを作つて参ります！

JPOT

今月、JPOTでは文章講座を実施しました。今回の講座では、記事執筆における構成の組み立て方や、読者に伝わりやすい表現の工夫、取材内容をどう整理して文章に落とし込むかといった実践的な内容を学びました。実際の新聞記事や過去のJPOT発行誌を参考にしながら、具体的なポイントを確認し、メンバー同士で意見交換を行いながら理解を深めました。新入生も積極的に参加してくれ、和やかな雰囲気の中で学び合うことができました。今回学んだことを今後の取材・執筆活動に活かして、より質の高い記事制作を目指していきたいと思います。